

## 生成AI活用へ 白岡市が検討会

対話型AI（人工知能）サービス「チャットGPT」などの生成AIを行政業務に活用しようとする白岡市が検討を進めている。AI活用の利便性やリスクを学びながら、業務の効率化を目指す。

市保健福祉総合センターで5日行われた第1回検討会では、市の各部署から選任されたDX（デジタルト

ランスフォーメーション）推進委員ら約40人が参加。NTT東日本埼玉支店の担当者が講師を務め、チャッ



「白岡市はどんなに『デジタル』なことを目指しながら、チャットGPTの特性を体験する機会」（5日、白岡市で）

トGPTの操作方法などを説明しながら、「漏えいの危険性がある機密情報は入力しないように」と強調していた。

参加したDX推進課の担当者は「内部的な実証実験を行い、ルール作りを進めることも、どの業務なら有用に活用できるか洗い出していきたい」と話した。市は今後も定期的に検討会を実施するという。

『読売新聞』2023年7月20日付0面